



やらまいか

クラブテーマ：リラックス・ロータリー ～親睦と奉仕、肩の力を抜いて～

会長／樺山修一 幹事／細井勉 会報委員会／大仁孝泰・鈴木卓也 例会／毎週火曜日 12：30 豊川商工会議所
事務局／豊川市豊川町辺通 4-4 豊川商工会議所会館内 TEL0533-86-2535 Fax0533-86-8889 HP：<http://toyokawahoi.tank.jp/>

本年度第12回 通算1691回 2022年10月4日(火)	出席報告	会員総数	出席者数	出席率	9/20修正出席率
		72名	46名	70.8%	76.9%

ゲスト：地区米山奨学委員 稲田典之さん（豊橋南） ビジター：(なし)

★会長あいさつ

樺山修一 会長



先週の例会はR財団の補助金事業で小学生の防災教室支援と豊川市へ翻訳機の寄贈、防災センターの見学と無事に終えることが出来ました。

日曜日はコロナも収まりつつある中で、天候にも恵まれ、夏目パスト会長の叙勲を祝う会が盛大に執り行なわれ、おめでとうございます。

本日の理事会でロータリー希望の風奨学金への支援について、一人当たり1,000円の協力を頂くことを承認して頂きました。

ロータリー希望の風奨学金とは2011年の東日本大震災によって、両親もしくは片親を亡くしてしまった子供さんが、大学や短大・専門学校にまで進んでもらえるようにという気持ちで、日本のロータリー10地区が共同して作った、月額5万円で返還不要の奨学金制度です。震災当時0歳の子も対象とするため、その子が4年制の大学を卒業するとして最短で2033年まで続くプログラムで、今が丁度折り返し地点です。

10月は米山月間です。米山記念奨学会へ普通寄付と特別寄付にご協力いただきありがとうございます。米山記念奨学会はアジアの留学生を対象とした月額10～14万円の返済不要の奨学金制度です。留学生の3人に一人は中国人で中国は今や世界No.2のGDP

を誇る国であり、わが国に対して覇権主義的な動きを見せている国であります。中国人は国防動員法、国家情報法という法律に縛られているそうです。国防動員法は外国在住の中国人も免除しておらず、国防勤務の対象者です。仮に日中間に軍事的対立が起きた場合には、中国資本系企業の日本事務所も中国の国防拠点となり得ますし、莫大な数の在日中国人が国防勤務に就くことになる可能性があります。国家情報法は中国政府から指示があれば工作活動スパイ行為を行う義務があるという事になっています。

このような状況の中で米山記念奨学会が今すぐにごどうのという事ではありませんが、先に紹介した希望の風奨学金は月額5万円で我々の負担は千円で良いのかという疑問を持ってしまいますし、日本を背負って立つ若者にも勉強に集中してもらえらる制度を拡充できたら良いと思います。

★幹事報告 細井 勉 幹事

★幹事報告

細井 勉 幹事

例会臨時変更のお知らせ

10月11日ロータリー休日のお知らせ

10月14日ガバナー公式訪問合同例会について

★委員会報告

親睦委員会 井指和昭委員長

11月8日9日秋の行楽開催について

★米山奨学委員会担当例会

委員長あいさつ

大木悦子委員長



皆さん、こんにちは。今日は地区米山奨学委員会の稲田様をお迎えして卓話をして頂きます。

先日、地区で米山奨学委員長会議がありました。米山奨学制度について研修を受けましたが、なかなか1回では理解することが難しいです。今日の卓話を聴いて勉強させて頂きたいと思っております。

米山奨学会への寄付の申し込みの案内を事務局から送らせて頂きます。皆様のご協力をお願いします。

卓話「米山奨学会について」

稲田典之氏



皆さん、こんにちは。豊橋南クラブから地区米山奨学委員会へ出向をしております。どうぞよろしくお願ひ致します。

地区へ出向とはいえ、今年度からの出向になります。皆様よりちょっとだけ勉強させて頂いたというレベルですので、分からないところが分かっているというところで、私なりの解釈を伝えながらお話をさせて頂きます。

ロータリー米山記念奨学事業は、日本のロータリーが作った独自の事業で、日本の全地区 34 地区が参加する多地区合同プロジェクトです。1957年に設立してから、一貫して日本で学ぶ外国人留学生を支援しています。この奨学金の最大の特徴は、世話クラブとカウンセラー制度です。米山奨学生には、ロータリー活動に参加してもらって、交流することを大切にしてもらっています。また、カウンセラーになると、ロータリークラブの活動そのものに熱心になる方も多く、家族ぐるみの国際交流を体験されることもあります。

米山の基金創設から 70 年経ちます。終戦の翌年 1946 年、日本ロータリーの父と呼ばれる米山梅吉氏が逝去されました。この 3 年後の 1949 年に戦争の為に解散していた日本ロータリーが国際ロータリー

に復帰します。戦後の落ち着きを取り戻すにつれて、米山梅吉氏の功績を永遠に讃えることが出来るような有益な事業が出来ないかという声が大きくなり、米山基金が開始されました。

近年の出来事を紹介します。2002 年ロータリー研究会のプログラムで、RI 理事会で米山記念事業が称賛されました。2007 年ロータリーの多地区合同活動としての手続きが完了しました。2016 年ソウル国際大会で初の分科会が開催されました。

2022 年度の奨学生は 898 人になります。中国の方が 40%を占めております。累計で 22,875 人、中国、韓国、台湾が多くを占めておりますが、近年ではベトナムなど増えています。

奨学生の選考と決定は、毎年、地区米山奨学委員会で面接を行います。朝から晩まで 1 日かけて色々なことを面接します。1 番はコミュニケーション能力です。語学力は大前提の中で行われるので、コミュニケーションが取れるかどうかの重点を置いてまいります。今年度は 53 人の奨学生がいます。来年度も 53 人の予定です。

この奨学生制度は、皆様の寄付で行っている事業です。2001 年度は 17 億円です。2021 年度は 13 億 4 千万円でした。寄付金の 97%が奨学金に使われていて、管理費として使われるのは 3%ぐらいです。奨学金に特化した事業です。

寄付実績としては、この地区の平均は 15,126 円となっています。全国平均は 15,971 円で、全国 16 位になります。

寄付金には、普通寄付金と特別寄付金があります。普通寄付金は、会員の皆さんからクラブでまとめて一定の金額を寄付して頂いております。特別寄付金は、ご厚意により寄付して頂いているものになります。

当地区は、会員数が全国で一番多いです。割合でいくと全国平均 46.4%に対して、33.2%になります。一部の方が多く寄付して頂いているような状況です。

米山奨学生を終えた方たちは、OB、OG として、アジアを中心に各地に学友会が出来ております。学友会として、独自の活動を行っています。日本国内で海岸の清掃活動をしたり、音楽祭を開催したりしています。海外でも活動をしており、台湾の学友会は熱心に活動をしています。2009 年から毎年欠かさず、日本から台湾に留学している方たちに対して、奨学金の支給の支援をして頂いております。台湾学友会の奨学金を受けた日本人が、2022 年度で累計 47 人となりました。また、台湾学友会は、日本で大き

な災害が起こるたびに、お見舞いのメッセージや義援金を送って頂いています。東日本大震災、2018年に関西を直撃した台風21号、北海道胆振東部地震などです。熱海土砂災害に対しては約150万円をみんなで出し合い送金してくれました。今年7月の安倍元首相が急逝された際も、多くの学友が弔問記帳をしました。このように学友会が様々な事業を行って来ています。

学友を経験して、ロータリアンになった方は272人。そのうちガバナーになったのが3人。

学友からの恩返しの気持ちとして、学友会から多くの寄付金が送られています。東日本大震災は約760万円、熊本大地震は上海から約20万円、学友からの寄付が累計で4,506万円という形で寄付されています。毎月1万円とか2千円などコツコツ継続寄付される学友もいます。

多額の寄付としては、中国の周順圭さんという投資家の方が、中国と日本と米国が仲良くしてほしいため50万ドルを寄付してくれています。

皆さんに知って頂きたい事として、2年に1度、米山学友会の世界大会が開催されています。次回は、2023年8月5日6日に、茨城県つくば市で行われます。ぜひ、ご参加下さい。

米山奨学生に関わる危機管理として、自然災害、病気、事故、ハラスメント等あります。地区危機管理委員会と連携して対応をしております。

2022年度から公益財団法人ロータリー米山記念奨学会は、実際の奨学生の選考、お世話などの業務を、地区・ガバナー・世話クラブへ「委託」する形となっています。これまではその点を明文化することなく運営してきましたが、内閣府からの指摘により、「業務委託に関する規程」を整備しました。

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会は2018年、内閣府賞勲局から、「紺綬褒章」の公益団体に認定されました。これにより、2018年9月12日以降、個人の場合は500万円以上、団体・企業などは1,000万円以上を当会へ寄付していただき、定められた条件を満たした場合に、紺綬褒章の授与申請をいたします。あらかじめ申し出ていただいた場合には、分納による寄付も可能です。

紺綬褒章についてご留意いただきたい点として、分納での手続きを希望される場合は、必ず事前に米山奨学会事務局へご相談ください。とのことです。

また、寄付金は寄付金控除の対象となります。詳細は豆辞典をご確認頂ければと思います。

奨学金の種類で、多くは大学の学部課程、修士・

博士課程になります。それ以外の奨学制度もあります。

この法人の設立趣旨は、アジア諸国との友好的な繋がりを国と国ではなく、ロータリアンが人と人で繋がってこうというところにあります。

今月は米山月間ですので、ロータリーの友にも詳しく掲載があります。豆辞典と合わせてお読みいただき、ご理解を頂きまして、ご協力を頂きたいと思っています。

米山奨学事業は、地域との懸け橋となる学生の子たちに、ロータリーの想いを伝える事業だと思えます。この事業は寄付で成り立っているのです。皆様のご寄付を宜しくお祈りします。本日はありがとうございました。

★ニコニコボックス

稲田典之様	本日の卓話講師をします
稲田典之様	お車代をニコボックスへ
樺山修一会長	稲田様の来訪を歓迎して
細井 勉幹事	〃
大木悦子会員	本日の例会を担当します
夏目雅康会員	叙勲を祝う会への参加御礼
池田 弘会員	誕生日を祝って頂き
細井 勉会員	〃
石黒貴也会員	〃
近藤利行会員	〃
竹生和史会員	〃
竹本裕一会員	〃
廣田 篤会員	〃
山本章吾会員	〃
井澤秀明会員	結婚記念日を祝って頂き
加藤哲山会員	〃
足立憲昭会員	〃
金田証宏会員	〃
林 博宣会員	〃
太田 稔会員	誕生日と結婚を祝って頂き
滝下 勲会員	〃
原田浩史会員	〃
浅野 晋会員	事業所創業を祝って頂き
坂口幹夫会員	〃
柴田陽一会員	〃
河本圭史会員	入会記念日を祝って頂き
杉浦和人会員	〃
新入会員研修会参加者一同	

9/22の研修会の御礼

会報担当：大仁孝泰・鈴木卓也